

議会報告会報告書

開催日時	平成 25 年 11 月 7 日(木) 18 時 30 分 ~ 20 時 05 分			
開催場所	豊岡公民館			
出席議員	加藤 雄次	粉川 昭一	平木 チサ子	
	生井 一郎	和田 公伸		
	代表者 加藤 雄次	司会者 粉川 昭一		
	報告者 全 員	記録者 平木 チサ子		
参加者数	35 人			
報告内容	別紙のとおり			
	《報告内容に対する意見・要望》	回答 (済・未)	委員会検討 (要・不要)	所管委員会 (要の場合)
	①市園芸作物生産施設整備事業の補助金の交付対象者が、農業者3人以上で組織する団体であるが、1人でも良いのではないかと、使いにくい。		要	産業観光
	②オアシス支援事業もみの木。利用者が一日平均、10名を超え、規定の倍以上。増えるほどに経営が苦しくなってきた、存続も危ぶまれる。もう少し、支援してもらえないものか。		要	市民福祉
	③長野県ではウォーキングや体操を全県的に実施。当市でも研究して健康寿命を延ばしてほしい。	済	要	市民福祉
	④轟団地の造成の際、自分の土地なのに青地として扱われた。謄本と違うことを市職員に言われ理不尽である。	済		
	⑤そば祭りの出店だが、杵つきもちを手でこねるからだめ、と言われた。そばも手でこねているのになぜか。	済		
	⑥轟小でも秋のふれあい祭りでもち米で餅をつこうとすると、学校の責任でやってくれと責任問題を問われ言われる。ぎすぎすして農業者としては残念である。	済		
	⑦農協と商工会議所の二大組織の連携がなされていない。行政が取り持つプロジェクトチームを作って、農村と観光をつなげれば、ポテンシャルが何倍にも膨らむ。議員は、遠くの人のお話ばかり聴かずに、地元の生産者の話も聴いて欲しい		要	産業観光
	⑧箱根、湯布院、別府は平日でも今市の花市のような賑わいで、水の郷とは大違いである。半日でも散策するところがあれば。回遊性や滞在性について研究して欲しい。	済	要	産業観光

日光市議会広報委員長 様

上記のとおり、報告いたします。

平成 25 年 11月18日

第 1 班

代表者 加藤 雄次

